



5 在院日数の指標

解説	厚生労働省から、毎年3000を超える施設の平均在院日数が、施設名を添えて公開されています。この平均在院日数は、短いほど効率的な診療を行っていると考えられますが、重症のため入院期間を長くする必要がある症例の治療を行う病院のことを十分に考慮していません。そのため、この指標はそうした病気の重症度を加味して各病院の在院日数を評価しています。数値が1の場合は全国平均と同じ在院日数であることを表します。1より大きい場合は短い在院日数であることを表しており、効率的な病院であると考えられます。												
実績	<table><thead><tr><th>年度</th><th>指標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成25年度</td><td>1.03</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>1.04</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>1.04</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>1.09</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>1.05</td></tr></tbody></table>	年度	指標値	平成25年度	1.03	平成26年度	1.04	平成27年度	1.04	平成28年度	1.09	平成29年度	1.05
年度	指標値												
平成25年度	1.03												
平成26年度	1.04												
平成27年度	1.04												
平成28年度	1.09												
平成29年度	1.05												
定義	厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。各年度時点での公開データから値を取得しています。 平成29年度の数値は、平成29年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値を、全国の疾患構成に補正した医療機関別の在院日数で除した値となります。 ※算出式「在院日数の指標」＝42大学の「在院日数の指標」の合計÷42												